

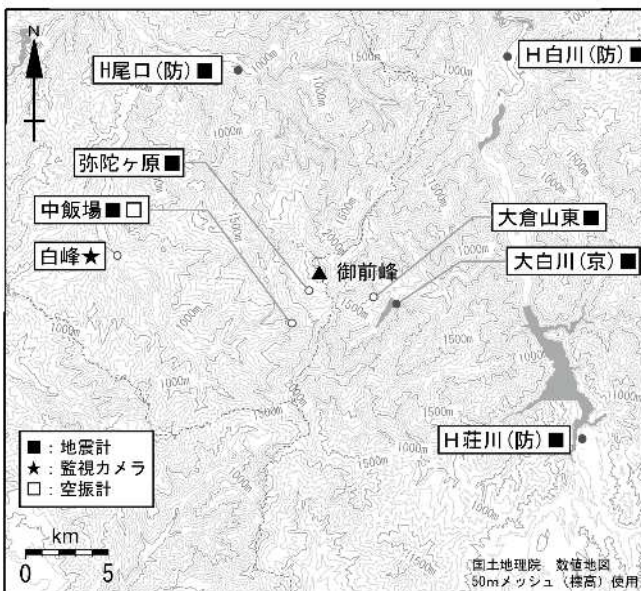
白山の火山活動解説資料（平成 28 年 12 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2）
白峰監視カメラ（白山山頂の西約 12km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図 3～4）
白山付近の地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されていません。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
〔防〕：防災科学技術研究所、〔京〕：京都大学防災研究所

図 1 白山 観測点配置図
大倉山東：12月1日運用開始



図 2 白山 山頂部の状況
（12月3日 白峰監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 1 月分）は平成 29 年 2 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、京都大学、東京大学、名古屋大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

【計数基準の変遷】

初期 2005年12月1日～2011年9月30日 弥陀ヶ原：振幅1.0 μ m/s、S-P時間1.5秒以内
 変更 2011年10月1日～2014年9月18日 中飯場：振幅1.0 μ m/s、S-P時間1.7秒以内
 変更 2014年9月18日～ 弥陀ヶ原：振幅1.0 μ m/s、S-P時間1.5秒以内

2014年12月16日
167回

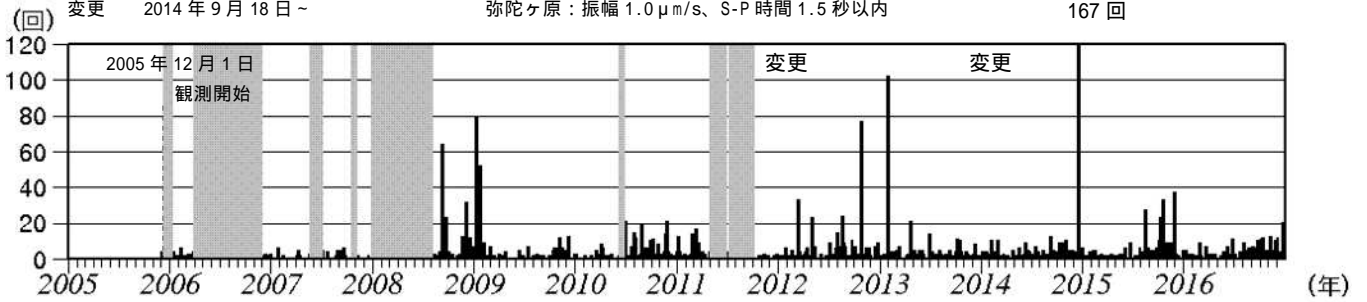


図3 白山 日別地震回数(2005年12月1日～2016年12月31日)
 ・図の灰色部分は機器障害による欠測期間

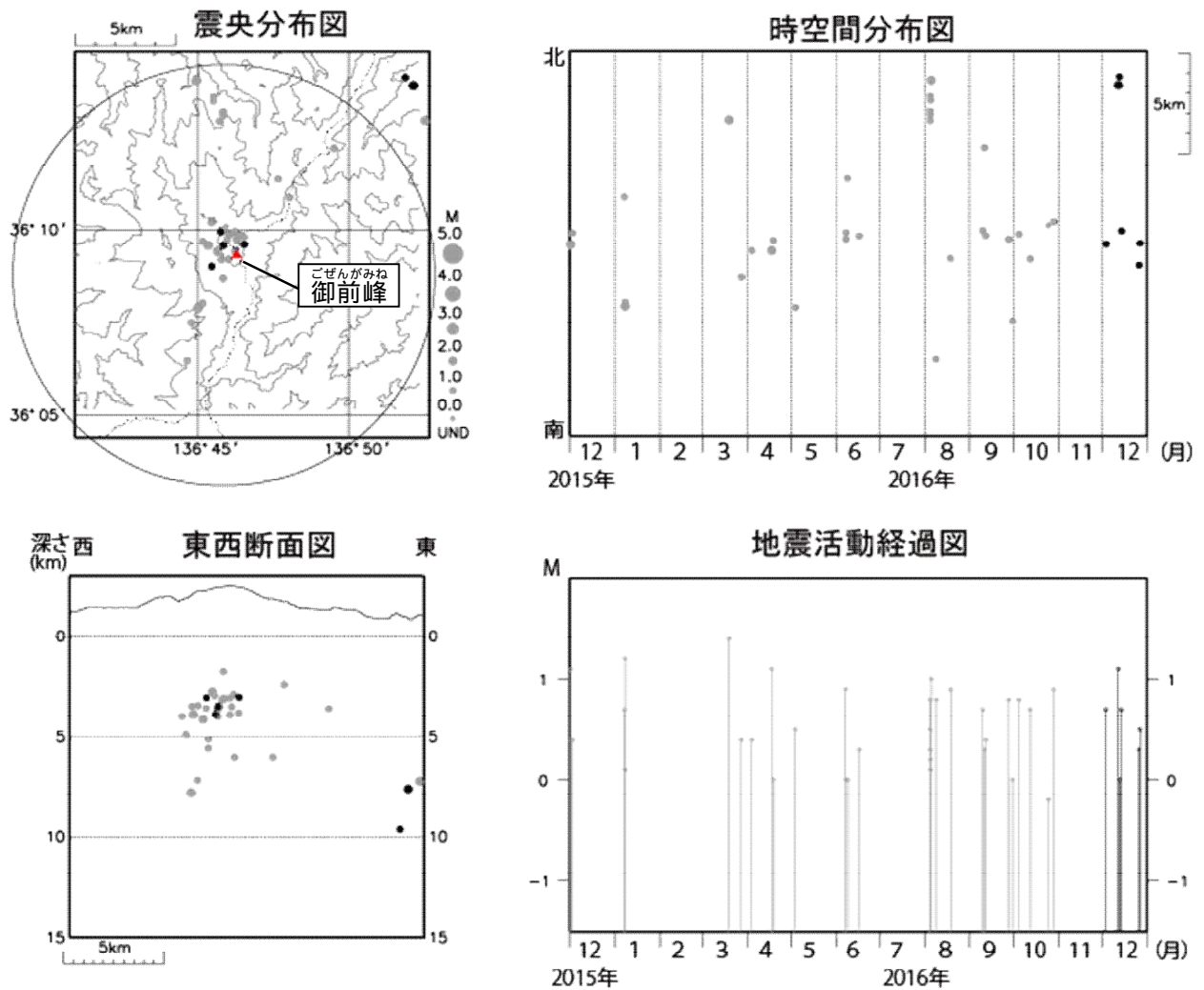


図4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2015年12月1日～2016年12月31日)
 : 2015年12月1日～2016年11月30日 : 2016年12月1日～12月31日
 ・震央分布図中の円は図3の計数対象地震(弥陀ヶ原でS-P時間1.5秒以内)のおよその範囲を示しています。
 ・M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
 ・図中の震源要素の一部は暫定値が含まれています。